

令和7年度第3回長野市学校給食センター等運営審議会 議事概要

期 日：令和8年2月10日(火)

開会時刻：午前10時30分

閉会時刻：午前11時15分

会 場：長野市第四学校給食センター(大字村山)

出席者：委員14名(欠席者7名)、事務局22名

傍聴者：4者

1 開 会

2 挨拶(唐木教育次長)

3 諮 問

4 会議事項

【審議事項】

「令和8年度学校給食費について」事務局が資料に基づき説明

【審議事項質疑応答】

A委員：学校給食費の月額はどのように算出しているのか。

事務局：1食当たりの単価に、長野市の年間平均給食日数である200日をかけて学校給食費の年額を算出し、その年額を11か月で割って月額を算出している。なお、11か月で割るのは、国の基準による。

B委員：中学校の物価上昇分を市が負担することはありがたいと感じている。さらに小学校も無償化すると、保護者の負担はかなり減ると思うので、事務局が説明した方針で進めてほしい。

C委員：昨今の食材価格の上昇を踏まえれば、諮問案のとおり単価とすることが妥当であると考え。また、事務局から、小学校の学校給食費の無償化や、中学校の学校給食費の物価上昇分を公費負担し、子育て世帯の負担を軽減するという説明があり、ありがたく感じている。家庭において物価上昇の影響を受けていることから、交付金を積極的に活用するなどして、保護者の負担が軽減されるよう配慮いただきたい。あわせて、質・量・栄養バランスを確保した、おいしい学校給食を維持してほしい。

会長より、「令和8年度の学校給食費は案のとおり額が適正であるが、家庭においても物価上昇の影響を大きく受けていることから、交付金を積極的に活用するなどして、保護者の経済的負担が軽減されるよう要望する。また、今後も質や量、栄養バランスを確保した学校給食が提供されるよう望む。」との取りまとめがなされ、委員の同意を得た。答申の文案については、会長に一任された。

【会議事項】

「令和8・9年度学校給食用物資納入業者の指定について」事務局が資料に基づき説明

【会議事項質疑応答】

D 委員：要綱が制定されたことや、保健所による衛生研修会を開催することは、安全性や合理性の確保につながるものである。このような取り組みがあることで、保護者も安心して学校給食の提供を受けることができると考える。

「令和8・9年度学校給食用物資納入業者指定申請者一覧」の項目「物資」中にある「14 その他」とは、どのような食材が含まれるのか。

事務局：申請書に記載があった具体例としては、ソルガムがある。

E 委員：業者に対する仕組みを整えることは、業者としても身が引き締まり、適切な納入への意識向上につながると思う。大変意義のある取り組みであると考えている。

F 委員：申請業者一覧を見ると、納入実績が10年以上の業者が多く、長年にわたり学校給食を支えていただいていることに感謝している。

G 委員：本校では昨年度、学校給食の中に異物が混入する事案があり、丁寧に対応していただいた。学校としても安全対策を徹底するが、業者に対しても研修等を通して安全対策を講じていただきたい。

申請者一覧に記載の令和8・9年度学校給食用物資納入業者については、委員の拍手をもって承認された。

【その他質疑応答】

H 委員：小学校の学校給食費の無償化について方針が示されたが、無償化について保護者へ周知するスケジュールを教えてほしい。

事務局：学校給食費を無償化するためには予算が必要であり、2月下旬から開催される長野市議会において、令和8年度予算について議決された後、保護者・学校へ周知を行う予定。3月末から4月頭にかけての周知となる見込みである。

5 お礼の挨拶

6 閉 会